

職業訓練教材コンクールの概要

1 目的・沿革等

職業訓練教材コンクール(以下「教材コンクール」という。)は、人材開発に携わっている方々などが、各現場や実践する場面において、日々の「創意工夫」により開発した「教科書」や「映像・シミュレータ」などの様々な「教材」について、「訓練指導時の当該教材使用による訓練実施効果の向上が見込まれる」などの審査観点に基づいて、応募作品から、「コンクール」として優秀な教材作品を選定し、その成果をたたえ、広く人材開発関係者などへ周知広報・普及することによって、訓練指導技法の技術・技能水準の向上を図るとともに、人材開発関係者などの意識をより一層啓発し、人材開発の推進や向上に資することを目的として昭和 48 年度より実施しており、第 2 回(昭和 49 年度)以降は「職業能力開発論文コンクール」と、それぞれ隔年で実施しており、「教材コンクール」としては、今回・令和 2 年度で第 25 回目を迎える。

2 主催

厚生労働省

独立行政法人 高齡・障害・求職者雇用支援機構

中央職業能力開発協会

3 表彰の種類

厚生労働大臣賞(特選)

厚生労働大臣賞(入選)

特別賞

・独立行政法人 高齡・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞

・中央職業能力開発協会 会長賞

4 教材作品の応募状況及び表彰授賞状況

(1) 応募教材作品数

平成 26 年度 90 作品

平成 28 年度 97 作品

平成 30 年度 92 作品

令和 2 年度 108 作品

(2) 授賞作品数(令和 2 年度)

厚生労働大臣賞(特選) 1 作品

厚生労働大臣賞(入選) 4 作品

特別賞((独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞) 5 作品

特別賞(中央職業能力開発協会 会長賞) 5 作品